

## 接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-1  
 ニューピア竹芝ノースタワー17階  
 ハウスプラス確認検査株式会社  
 代表取締役社長 坂 慎 義 夫

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
 令和6年2月21日

1. 接合金物名称	高耐力ホールダウンHi84 (45mm枠材仕様)
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「高耐力ホールダウンHi84 (45mm枠材仕様)」          材 質: SS400(JIS G 3101)*1          寸 法: (外形)52mm×54.5mm×600mm t=4.5mm ビス用孔21-φ7.5mm          表面処理: なし</p> <p>2) 接合具</p> <p>「木ねじ TBB-105」 21本          材 質: 以下の化学成分を満たす炭素鋼          C;0.15~0.23% Mn;0.60~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下          寸 法: 頭部径φ10.8mm 軸径6.7mm ねじ山径7.2mm ねじ谷径4.9mm          ねじピッチ3.18mm L=105mm ねじ部L=77.2mm ローレット加工あり          表面処理: エコート*2WH処理</p> <p>「丸座金φ46」 1枚          材 質: SS400(JIS G 3101)*1          寸 法: φ46mm(内径φ17mm) t=12mm          表面処理: なし</p> <p>「両ねじボルトM16-500」 1本          材 質: 強度区分10.9を満たす炭素鋼(JIS B 1180及びJIS B 1051)          寸 法: M16 L=500mm          表面処理: なし</p> <p>「六角ナットM16」 1個          材 質: 強度区分10を満たす炭素鋼(JIS B 1181及びJIS B 1052-2)          寸 法: M16          表面処理: 四三酸化鉄皮膜</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材: 105mm×105mm×1,250mm JAS 同一等級構成構造用集成材          スプルース E95-F315          含水率: 11.0~11.5% 全乾密度: 0.42~0.44g/cm³          枠材: 45mm×105mm×1,250mm スギ 無等級材          含水率: 11.0~11.5% 全乾密度: 0.38~0.45g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱と枠材の接合: 鉄丸くぎN90(@100mm、千鳥) 25本</p> <p>*1 引張強さ400N/mm²以上、降伏点245N/mm²以上の強度を満たす炭素鋼          *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とし、厚さ45mmの枠材を介して当該接合金物を柱に取り付けた。 試験体は、「両ねじボルトM16」と「六角ナットM16」を用いて鉄骨治具に手締めにて固定した。 加力は、柱の脚部側木口面を加圧することにより、接合金物に引張力を作用させた。 また、加力時に試験体の横倒れを防止するためのサポート治具を設けた。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>84.8 kN</b> (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和6年1月23日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。